

経営比較分析表（令和2年度決算）

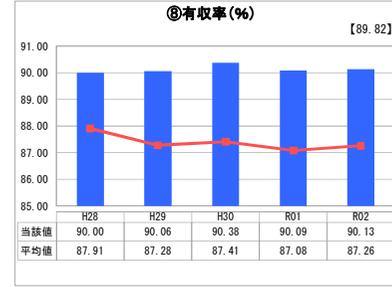
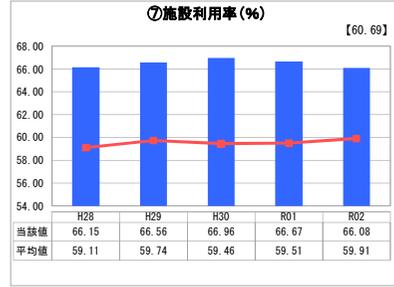
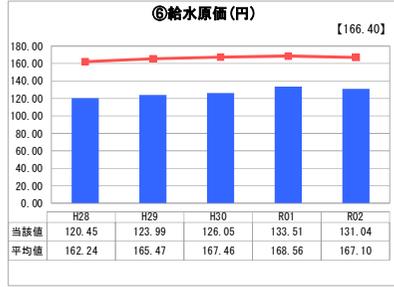
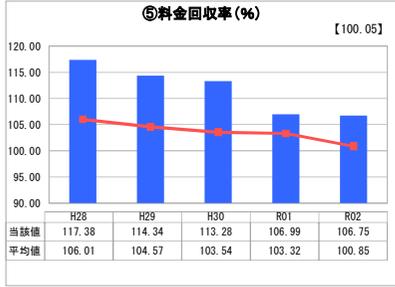
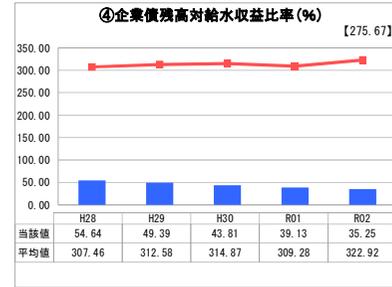
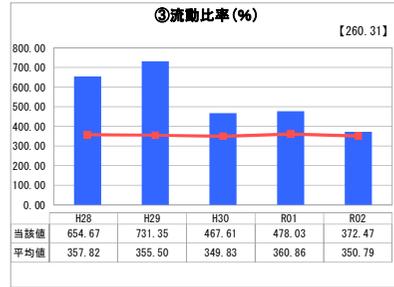
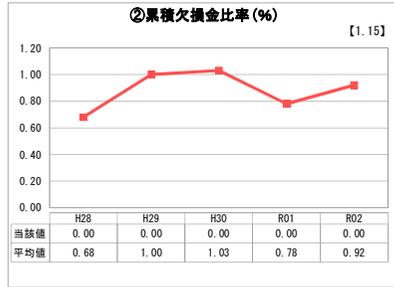
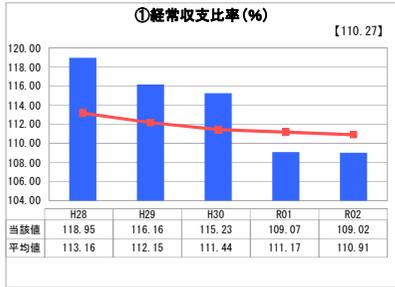
埼玉県 東松山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	92.14	99.95	1,925	

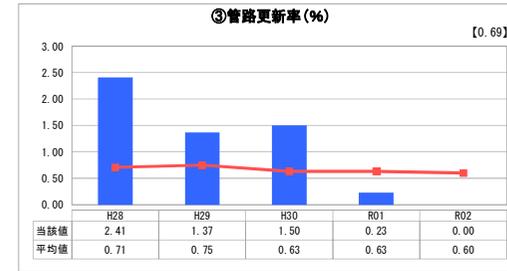
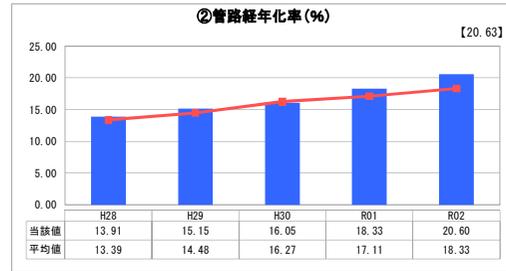
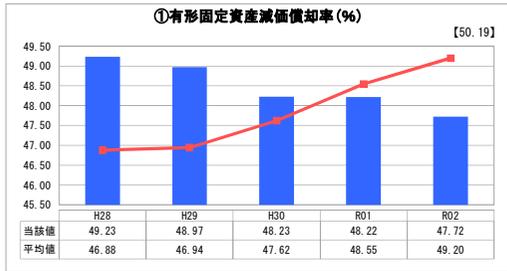
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
90,456	65.35	1,384.18
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
90,249	65.69	1,373.86

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
100%を上回っており、当該年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により給水収益が減少したが、前年度と比較しほぼ数値を維持している。今後も100%を維持出来るよう努める。
- ②累積欠損金比率
該当なし
- ③流動比率
100%を大きく上回っているが、流動資産のうち現金については減少している。
- ④企業債残高対給水収益比率
類似団体の平均値を下回っており、企業債に頼らず事業を行っている。
- ⑤料金回収率
100%を上回っており、類似団体の平均値を上回っているが、平成28年度以降減少傾向である。水道ビジョンでは将来的な料金改定を検討している。
- ⑥給水原価
類似団体の平均値を下回っており、安い原価で給水を行っていることを示している。
- ⑦施設利用率
類似団体の平均値を上回っている。将来的には人口減少による一日平均配水量が減少することが見込まれるため、適切な施設規模に注視していく。
- ⑧有収率
類似団体及び全国の平均値を上回っている。継続して実施している老朽管更新に因ると考える。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
管路・施設の更新により類似団体の平均値を下回っている。
- ②管路経年化率
類似団体の平均値を上回っており、加えて平成28年度以降増加傾向であるため、経営状態を勘案しつつ引き続き管路更新に努める。
- ③管路更新率
類似団体を下回っている。今後も更新計画に基づき幹管路を含む老朽管更新を実施する。

全体総括

経営の健全性・効率性の分析から、当水道事業は適正な運営を維持していると判断できる。新型コロナウイルス感染症の影響により給水収益が大きく減少したが、令和元年東日本台風により被災した水道施設の復旧により県水の受水量が減少したため経常費用が減少した結果、料金回収率や給水原価はほぼ横ばいとなった。ただし流動比率は平成29年度以降減少傾向であり、資金の減少がみられるため、委託料・修繕費の増及び減価償却費等の推移を注視している。老朽化の状況について、当該年度においては有形固定資産減価償却率は平成28年度以降減少傾向であり、水道施設については更新が進んでいるが、更新延長の減少により、管路経年化率の上昇及び管路更新率が減少した。今後も更新計画に基づき幹管路を含む老朽管更新を予定している。

経営比較分析表（令和2年度決算）

埼玉県東松山市 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	民間企業出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド訓	救感輸
人口(人)	建物面積(㎡)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
90,456	13,805	第2種該当	-	7:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

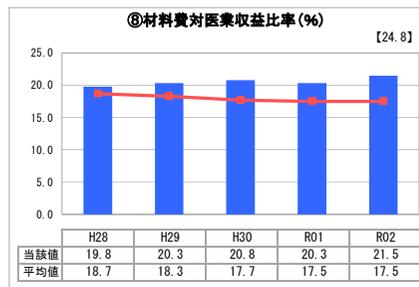
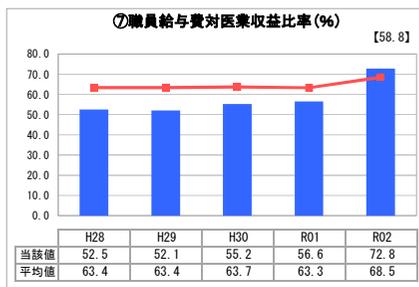
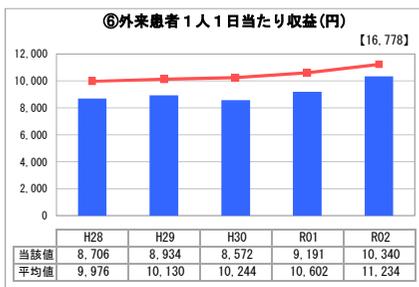
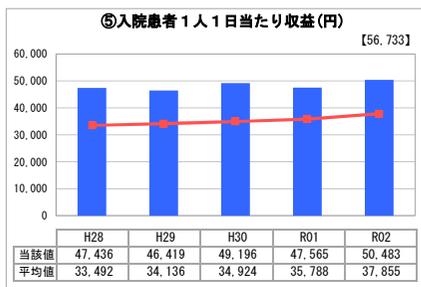
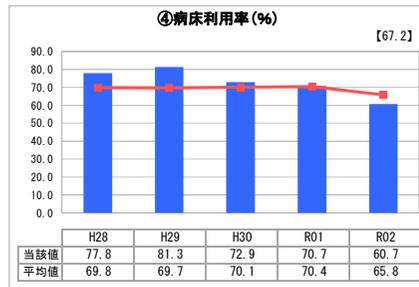
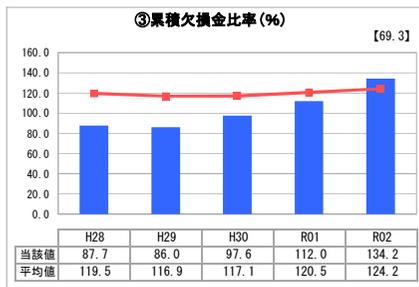
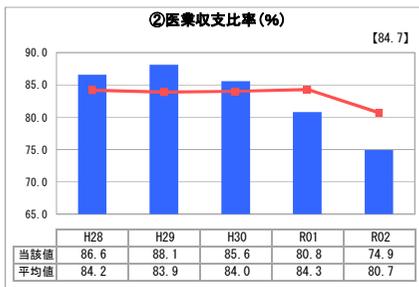
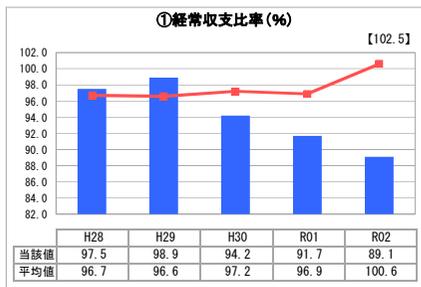
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
110	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	4	114
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
110	-	110

グラフ凡例

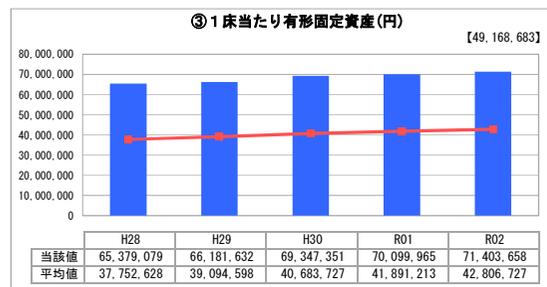
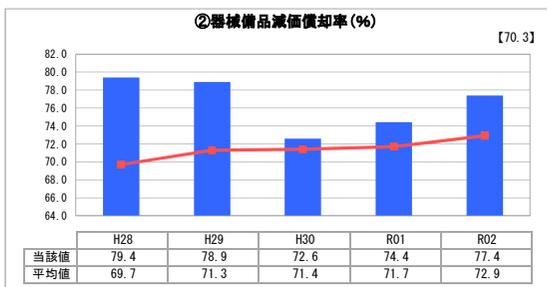
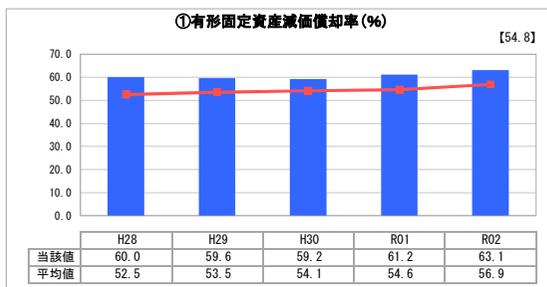
- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)

【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

比企地域のほぼ中央に位置しており、1・2の診療科を有する地域の中核的な医療施設としての役割を担っています。
救急医療機関、第二種感染症指定医療機関及び病院群輪番制病院の認定、指定を受けるなど公立病院としての役割を果たしつつ、地域における医療ニーズに応えられる体制を整備します。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス感染症の影響により、受診を控える傾向があったことから、患者数及び収益ともに前年度実績を大きく下回る結果となり、経常収支比率、医療収支比率ともに全国及び類似病院の平均を下回りました。患者1人1日当たりの収益は、前年度と比べ増やすことができましたが、健全な経営を実現させるためには、引き続き医療収益を増やす取り組みが必要と考えます。

なお、職員給与費対医療収益比率が大きく増加したものは、医療収益が上記の理由から減少していることに加え、会計年度任用職員制度が導入されたことに伴い、報酬が大幅に増加したことによるものと考えます。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産及び機械備品の減価償却率は、ともに全国及び類似病院の平均を上回っています。が、現在、建物及び設備関係の大規模修繕を計画的に行っていることから、建物・設備関係の減価償却率は今後減少することが見込まれます。器械備品については、病院経営的な側面からも、安全性が確保できるものは、法定耐用年数を超えるものでも可能な限り修繕等で対応し、計画的な更新を行います。

なお、建物関係については、許可病床数よりも広いスペースを確保しており、現許可病床数の1床当たりの有形固定資産は、割合になる傾向があります。

全体総括

新型コロナウイルス感染症の影響による医療収益の減少が著しく、経常損失が大幅に増加し、過去十数年で最も経常損失が大きいという結果となりました。今後も、建物・設備関係の大規模修繕や医療機器購入等の設備投資による減価償却費の増加が見込まれていることから、医療収益の増加を軸とした増収への取り組みが必要と考えます。

健全な病院経営の実現に向け、内科をはじめとした医師の増員に取り組み、充実した医療体制を確保するとともに、市民病院としての役割を果たし、専門性や特色を持った体制を整備することで、医療収益の増加を目指します。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和2年度決算）

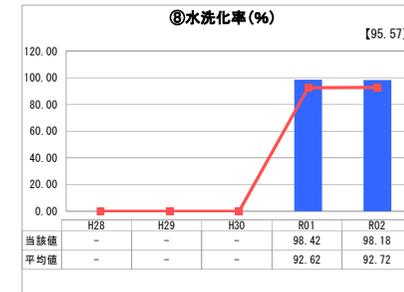
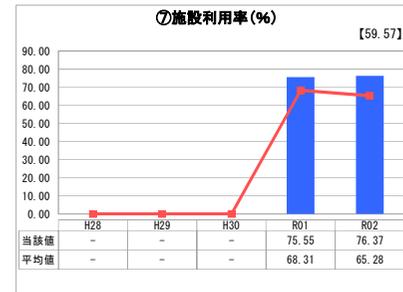
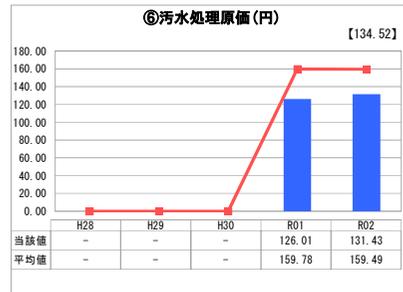
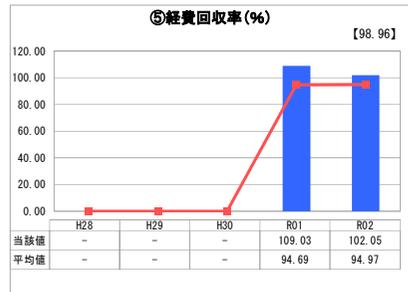
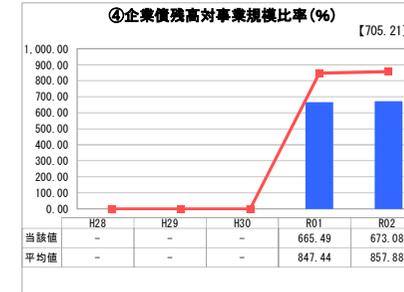
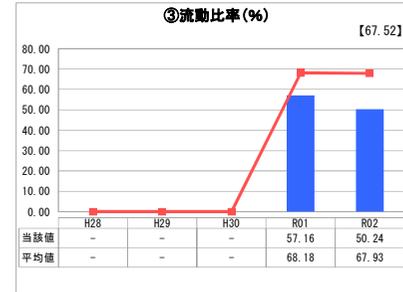
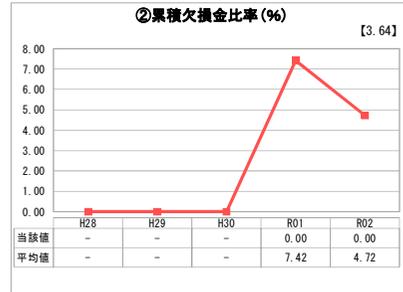
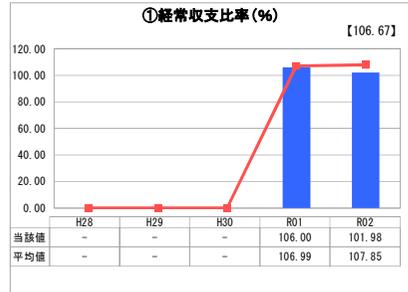
埼玉県 東松山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	79.91	51.14	76.41	2,035

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
90,456	65.35	1,384.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
46,177	10.27	4,496.30

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
100%を上回っているが、今後の更新投資等に充てるため引き続き財源確保に努める。

② 累積欠損金比率
該当なし

③ 流動比率
100%を下回っており、令和2年度策定の経営戦略のもとに、収益性の確保に努める。

④ 企業債残高対事業規模比率
下水道事業開始当初の借入について償還が終了しつつある状況であり、類似団体の平均値を下回っている。

⑤ 経費回収率
100%を上回っており、汚水処理費用が下水道使用料で賄えている。

⑥ 汚水処理原価
類似団体の平均値を下回っているが、今後、汚水処理費の増加が見込まれるため、それに対する財源確保に努める。

⑦ 施設利用率
類似団体の平均値を上回っている。今後、未整備区域の解消を進めることで更なる利用率の増加が見込まれる。

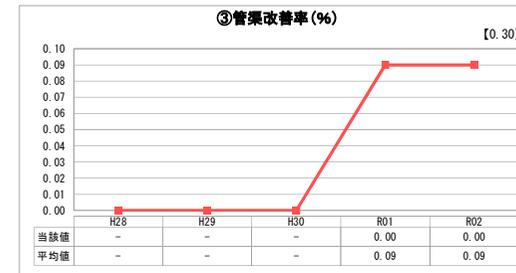
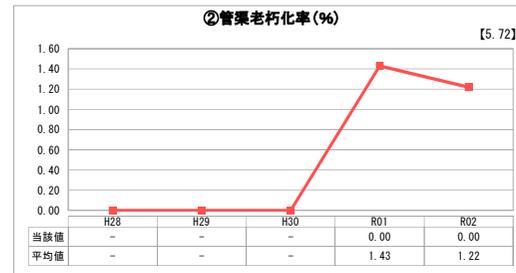
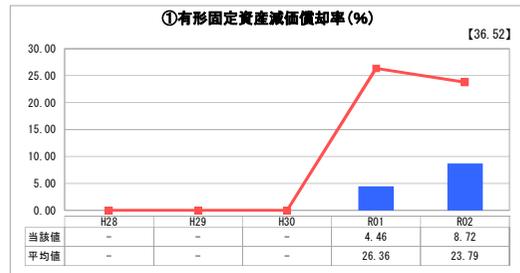
⑧ 水洗化率
類似団体の平均値を上回っている。今後、下水道整備を進めるにあたり、速やかな接続を促進し100%を目指していく。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
類似団体の平均値を下回っているが、ストックマネジメント計画のもとに資産管理をしていく。

② 管渠老朽化率及び③ 管渠改善率
該当数値はないが、ストックマネジメント計画のもとに資産管理をしていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

経常収支比率及び経費回収率ともに100%を超えており、下水道使用料等に賄えることが分かる。また、管渠老朽化率及び管渠改善率ともに0%であることより、健全かつ適正な事業運営がなされていると判断できる。

今後は耐用年数を超える資産が発生することによる更新事業費等の増加及び人口減少等に伴う使用料収入の減少が予想される。令和2年度策定の経営戦略のもとに、収益性を確保し、将来にわたり持続可能で安定した事業運営を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。